

「山の幸等を利用する“伝統食”」「きのこの食生活における利用と可能性」についての 講演会開催（穴水町林業研究会女性部／石川県）

事業の目的

穴水町林業研究会女性部が、山村地域・林業の活性化に寄与することを目的として取り組んできた活動の1つが山の幸の活用である。実施事業は、「山の幸等を利用する“伝統食”」「きのこの食生活における利用と可能性」について、2人の専門家に講演いただく。講演会を周知することで、森林林業には興味関心はあるけれども何をしてよいのか分からない、活動の幅を広げたいなどの森林林業への幅広い層の女性に気軽に参加いただく。参加者には講演会に併催する意見交換会（林業女性が多く参加）にも加わってもらい、実際の女性林業者と話すことで、森林林業をより知るきっかけを作り、森林林業における女性の輪を拡大、情報交換を行う。

事業の内容

・11月28日、山菜文化研究会に所属する料理研究家・堀江ひろ子氏をお招きし、「伝統食と家庭料理」について講演いただいた。講演は、対面とオンラインとのハイブリットで実施した。講演の後、全国林業研究グループ連絡協議会が主催する「はつらつ林業女性交流会」の意見交換会「食べよう、作ろう、先人の知恵～伝統食、保存食、非常食～」が行われ、伝統食、保存食、非常食をご紹介いただける方々、商品開発を考えている方々、興味がある方々に参加し、意見交換が行われた。

・3月13日、きのこ研究の第一人者（江口文陽氏（東京農業大学学長））に「山と水と美の関係」についてオンラインで講演いただいた。講演の後、全国林業研究グループ連絡協議会が主催する「はつらつ林業女性交流会」の交流会「地域の山と水のかかわり」が行われ、意見交換が行われた。

参加人数

- ・11月28日：50名（対面＋オンラインで実施）
- ・3月13日：46名（オンライン）

活動の様子



11月28日、山菜文化研究会に所属する料理研究家・堀江ひろ子氏による「伝統食と家庭料理」講演会



堀江ひろ子氏を囲んで。講師は伝統食の試食会にも加わり、さまざまなアドバイスをいただいた



3月13日、きのこ研究の第一人者（江口文陽氏（東京農業大学学長））による「山と水と美の関係」講演会（オンライン）



身近なきのこの話題から最先端の医療分野へのきのこの活用など、さまざまな切り口から、山の幸を代表するきのこについてお話しいただいた